

令和2年度
こころ医療福祉専門学校壱岐校
学校自己評価結果報告書

令和3年4月7日

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン
(平成25年) 準拠

1. 学校の教育目標 令和2年度

○ビジョン

地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になる

○ビジョンの実現に向けたテーマ

地域社会から必要とされる組織であり続ける
地域社会から必要とされる人材を提供する

- 1 学校経営スローガン 「傍らに人あり」の精神を大切にする心豊かな介護人材の育成
- 2 重点教育目標
 - (1) 授業内容の質の向上に努める
 - (2) 介護福祉士国家試験合格率の向上および進路実現100%の達成
 - (3) 効率的な学生募集に努める(日本学生6, 留学生15)
 - (4) 留学生の安全安心100%に努める
 - (5) 凡事徹底に努め, 組織として動く
- 3 具体的な対策
 - (1) 研究授業の実施および施設実習の充実
 - (2) 模擬試験, 補講, じょこ学習時間の十分な確保
担任, 学科主任による個別面談
就職合同面談会の実施
 - (3) ガイダンス, オープンキャンパスなど広報内容の充実
 - (4) 留学生を含めた学生の相談窓口の周知
 - (5) 職員の報告, 連絡, 相談体制の推進
- 4 地域社会との関係
 - (1) 地域の公民館との連携
 - (2) ボランティア活動(他団体との連携)への積極的参加を図る

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 授業内容の質の向上に努める
先輩教師に学ぶことを基本に, 年3回研究授業を実施し, 自己研鑽に努め,
学生の介護福祉士国家試験合格に繋げる。
- (2) 介護福祉士国家試験合格率向上および進路実現100%の達成
 - ① 入学試験および入学時オリエンテーションにおいて国家試験の位置づけなど合格に向けた明確な意識付けを行う。
 - ② 充実した授業をもとに, 模擬試験10回, 補講および放課後の自己学習30回程度の量の確保を行う。
 - ③ 本校独自の就職合同面談会を実施する。(7~9施設の参加を目指す)
 - ④ 担任・学科長との進路に関する面談を十分に行う。
- (3) 効率的な学生募集に努める(日本学生6, 留学生15)
 - ① 高校のガイダンスについては積極的に職員を派遣し, 広報に努める。
 - ② オープンキャンパスにおいて丁寧な説明を行う。
- (4) 留学生の安全安心100%に努める
担任を中心とした面談を適宜実施するとともに, 日常生活, 悩み, 疾病対応等に関する相談窓口の周知を図る。
- (5) 凡事徹底に努め, 組織として動く
 - ① 全体, 学生に関わること, まずは報告する体制を徹底する。
 - ② 問題を一人で抱え込まず相談できる意識付けを行う。
 - ③ 業務全般に関し, 凡事徹底を意識付ける。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1	学校の理念は、学生便覧等にも揭示され明確である。[専門分野の深い知識]のみならず、「誠実、気力、知恵と行動力」を育むことで「社会に貢献」する姿勢は専門学校の理念として相応しく、専門職としての人格と知識・技能を備えた信頼される社会人を輩出することで社会に貢献することが目的である。 【教職員アンケート 質問1 3.50】
・学校における職業教育の特色は何か。	4	3	2	1	専門的な経験を積んだ専任教員を中心に、各業界との連携を重視し、理論と実践のバランスがとれた教育を実施している。また、実習においては各連携施設との緊密な連携のもと、人と人のふれあいに重点を置いた職業教育に力を入れている。 【教職員アンケート 質問2 2.83】
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	3	2	1	学校関係者評価委員会、実習先各施設をはじめとした各方面からの意見、要望を取り入れ、社会貢献のあり方やカリキュラム編成に活用することで社会のニーズに直結した将来を見通した学校経営に努めている。 【教職員アンケート 質問3 3.00】
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	4	3	2	1	オープンキャンパス等の入学前ガイダンスを通じて、また、入学後も保護者説明会、オリエンテーションを通じて繰り返し周知を図っている。学校と学生・保護者が理念・目的・育成人材像を共有し、主体的に行動することで円滑な学校運営に繋げている。 【教職員アンケート 質問4 2.83】 【学生アンケート 質問1 3.13】 平均:3.25
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	3	2	1	関連業界との情報交換を積極的に行い、将来的な業界のニーズに対する理解が深まっている。常に業界の動向に対する情報収集を行い、それに応じた教育目標・育成人材像を掲げ、その目標に沿った教育活動を展開している。 【教職員アンケート 質問5 3.33】

①課題

社会状況の変遷は加速の一途を辿っており、それに伴って社会経済のニーズも目まぐるしく変容していく。また、新型コロナウイルス感染症の流行がその状況に拍車をかけた。これまで以上に正確かつ迅速に関連業界のニーズを把握し、教育活動に活用する体制を整える必要がある。

②今後の改善方策

問題意識を持って定期的に教育目標等を見直し、関連業界のニーズに沿った人材の育成を目指す。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(2) 学校運営

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	3	2	1	地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になるという岩永学園グループのビジョンを実現するため、グループ内の社会福祉施設はもちろん、地域の福祉施設との連携を強化し、より実践的な教育を目指した運営方針が策定されている。 【教職員アンケート 質問6 3.00】
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4	3	2	1	事業計画は、地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になるという学校の運営方針に沿って、毎年度初めに具体的な事業計画を示している。 【教職員アンケート 質問7 3.00】
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4	3	2	1	運営組織や意思決定機能は明確化されており、有効に機能している。 【教職員アンケート 質問8 2.50】
・人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4	3	2	1	就業規則、給与規定等により明確に定められている。 【教職員アンケート 質問9 3.00】
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4	3	2	1	意思決定システムは整備されており、適切に運用されている。 【教職員アンケート 質問10 2.67】
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4	3	2	1	学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会をはじめとした様々な取り組み等を通じて法令を遵守し、社会通念に沿った学校運営を行える体制を構築している。 【教職員アンケート 質問11 2.67】
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	3	2	1	教育課程編成委員会、学校ホームページや学生募集活動におけるガイダンスやオープンキャンパスなどを通じて、教育活動等に関する情報を公開している。限られた時間内で相手が得たい情報をいかに正確に伝えるかが今後の課題である。 【教職員アンケート 質問12 2.83】
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	3	2	1	業務効率化のため学校内情報システムの整備をすすめている。全職員が一定の水準で日常業務に従事できる事を目的としてマニュアル作成を開始した。 【教職員アンケート 質問13 2.50】

①課題

入学希望者が得たい情報に容易に取得できるよう情報公開のあり方を吟味する必要がある。

②今後の改善方策

情報発信の手段はもとより、発信する情報の取捨選択、伝え方を工夫し、分かりやすい情報発信を心掛ける。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(3) 教育活動

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	3	2	1	本校の教育理念に基づき、学校関係者委員会・教育課程編成委員会等・関連業界との連携の上で実践的な職業教育を意識した教育課程編成・実施方針の策定を行っている。 【教職員アンケート 質問14 3.50】
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	3	2	1	養成施設指定規則に基づき修業年限や学習時間、目標とする到達レベルが明確にされている。 【教職員アンケート 質問15 3.33】
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1	養成施設指定規則に基づき体系的なカリキュラム編成を行っている。 【教職員アンケート 質問16 3.17】
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	3	2	1	関連業界との情報交換・教育課程編成委員会の意見をもとに、実践的かつ効果的な教育方法の工夫・開発に努めている。コロナ禍によって施設実習を行えなかった期間は学内実習に切り替え、実践的な介護技術を習得できるよう日々教員間の情報交換・会議を重ね、より効果的な実習が行えるよう研鑽を重ねた。 【教職員アンケート 質問17 3.33】
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	4	3	2	1	介護実習をととして、教職員・受入施設担当者の緊密な連携のもと、現場で真に必要なとされる技能の習得に力を入れ、実践的な職業教育がなされている。 【教職員アンケート 質問18 3.50】
・授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	3	2	1	すべてのクラスで授業評価アンケートを実施・集計し、各教員で供覧し授業改善の評価材料として授業の改善に役立てている。 【教職員アンケート 質問19 3.17】
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4	3	2	1	教育課程編成委員会を年2回、学校関係者評価委員会を年1回実施し、委員からの評価を受けている。 【教職員アンケート 質問20 3.17】
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4	3	2	1	学則および各種規定に基づき、成績評価、単位認定、進級判定、卒業判定の基準は明確にされている。 【教職員アンケート 質問21 3.17】
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1	養成施設指定規則に基づき、資格取得に関する指導体制、カリキュラムなどが体系的に位置づけられている。 【教職員アンケート 質問22 3.17】
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4	3	2	1	国家資格の養成施設指定規則に則り、適切な資格要件を持つ、実践力のある教員を確保している。 【教職員アンケート 質問23 3.17】
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。	4	3	2	1	教員は実務経験を活かして関連業界との連携を深め、情報交換を密にすることで各自の知識と技術の維持・研鑽に努めている。また、実習指導およびそれに先がけた研修を通じて、実習施設の指導担当者との教育方針の統一・知識を共有することで更なる資質向上に繋げている。 【教職員アンケート 質問24 3.00】
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	4	3	2	1	自主的な教材研究を奨励し、自己研鑽に努めている。また、全教職員に対して、全般的な指導力向上のための研修を行っている。 【教職員アンケート 質問25 3.00】
・職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4	3	2	1	新型コロナウイルス感染症の影響で外部の研修への参加は見送らざるを得なかったが、学内において実習指導研究を行い、職員の能力開発に繋げた。 【教職員アンケート 質問26 2.83】

①課題

国家試験に向けた学生の動機づけが奏功しつつある。留学生にも国家試験に向けて意欲的に学習に取り組む者が徐々に増えている。なお、留学生の国家試験合格圏到達に向けた指導には課題を残す結果となった。全学生が国家試験という目標に向かって努力する環境となるよう、目的の共有及び明確化が必要である。

②今後の改善方策

全学生が国家試験合格という目標を意識して学習に取り組めるよう、教員の指導力の向上に努めると共に、キャリア形成を視野に入れた就職支援、実践的な教育に力を入れ、早い段階から、卒業後のキャリア形成を意識できる環境を構築する。

③特記事項

今年度は留学生9名中2名の介護福祉士国家試験合格者を出すことができた。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(4) 学修成果

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1	学校主催で市内各施設との合同就職面談会を実施する等、学生の就職活動を積極的に支援し、令和2年度卒業生は全員が希望した施設に就職することができた。 【教職員アンケート 質問27 3.50】 【学生アンケート 質問2 3.63】 平均3.57
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1	模擬試験を定期的に行うことで自身の学修成果を客観視することができ、より効果的な学習に繋げることができた。 【教職員アンケート 質問28 3.33】 【学生アンケート 質問3 3.66】 平均:3.50
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1	学生・保護者からの相談に適切に対応し、不安軽減を図るとともに、学習面のサポートを細やかに実施することで学習意欲の向上につなげている。 【教職員アンケート 質問29 3.00】 【学生アンケート 質問29 3.25】 平均:3.13
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1	在校生との情報共有を密にし、社会的な活躍について常に把握するよう心がけている。担任を中心に卒業生と連絡を取り合い、卒業後の動向の把握に努めている。 【教職員アンケート 質問30 3.00】 【学生アンケート 質問5 3.09】 平均:3.00
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1	卒業生の活動状況を随時聞き取り、教育活動の改善に取り入れられるよう努めている。 【教職員アンケート 質問31 3.00】 【学生アンケート 質問6 3.31】 平均3.16

①課題

留学生に対する関連分野の専門用語の指導は徐々に効果を発揮しつつある。国家試験合格に向けて更なる教材研究・授業方法の検討を重ねる必要がある。

②今後の改善方策

授業の内容、指導方法など、互いに研鑽を積み、質と量の向上を図る。また、留学生に対する日本語の補充授業を充実させ、授業に対する理解度を高めるとともに、全学生に対して実践的な技術の習得を積極的に支援し、就職後高い技術をもって業務に従事できる人材の育成に努める。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(5) 学生支援

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	関係業界に呼びかけ校内で就職説明会を開くなど、在校生の就職活動を支援している。就職後も各種の相談に対応し、安心して業務に従事できるよう支援している。 【教職員アンケート 質問32 3.33】 【学生アンケート 質問7 3.47】 平均3.40
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1	クラス担任を通じた相談をはじめ、全員が相談窓口の機能を果たせるように努めている。また、日頃から学生の変化に目を配り、相談を待つだけでなく、職員側から働きかけることで問題の早期発見・解決につながっている。 【教職員アンケート 質問33 3.33】 【学生アンケート 質問8 3.44】 平均:3.39
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	学校独自の授業料等の減免制度に加え、各種奨学金申請及び採用にかかわる手続きの支援を積極的に行い、並行して経済状況に応じた校納金分納の相談にも応じている。 【教職員アンケート 質問34 3.50】 【学生アンケート 質問9 3.41】 平均:3.46
・学生の健康管理を担う体制はあるか。	4	3	2	1	定期的な健康診断はもちろん、担任を中心とした衛生管理、安全・衛生指導を通じて、学生の健康管理を徹底している。また、新型コロナウイルス感染症予防のため、校内内の消毒、マスクの着用、換気、手洗いうがい等をの指導に力を入れ、安全に勉学に取り組める環境を構築している。 また、医師に病状を伝えることが困難な留学生については受診に付添い、適切な治療を受けられるよう援助している。 【教職員アンケート 質問35 3.50】 【学生アンケート 質問10 3.75】 平均:3.63
・課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から課外活動には制限を設けざるを得なかったが、十分な感染予防対策を講じた上での課外活動を行えるよう、情報提供を行っている。 【教職員アンケート 質問36 3.17】 【学生アンケート 質問11 4.16】 平均:3.67
・学生の生活環境への支援は行われているか。	4	3	2	1	学校内に学生寮を設置し、留学生および島外出身者の修学を支援する体制をとっている。留学生に対しては、母国の習慣を尊重しながらも、日本での生活習慣や一般常識を身に付けられるよう、指導と情報提供を徹底している。また、学生の要望を聞き取り、可能な限り環境整備を行っている。 【教職員アンケート 質問37 3.17】 【学生アンケート 質問12 3.47】 平均:3.32
・保護者と適切に連携しているか。	4	3	2	1	入学前からの面談、成績状況に応じた適宜の保護者面談等を通じて、保護者との連携を重視している。 電話相談等を常時受け付け、質問や相談に適切に対応している。 【教職員アンケート 質問38 3.33】 【学生アンケート 質問13 3.56】 平均:3.28
・卒業生への支援体制はあるか。	4	3	2	1	卒業生の介護福祉士登録、国家試験申し込み手続き、その他の相談に常時対応している。外国人卒業生には必要に応じて在留資格更新申請、各種手続き方法等の相談に対応し、日本で安心して就労できるよう支援している。 【教職員アンケート 質問39 3.17】 【学生アンケート 質問14 3.47】 平均:3.26
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4	3	2	1	授業時間を午前11時から午後4時30分とし、午前中と夕方以降の活動を可能にした。周辺地域の介護施設と緊密な連携を図り、社会人にとってより効果的な学習につながるよう支援している。 【教職員アンケート 質問40 2.83】 【学生アンケート 質問15 3.47】 平均:3.15
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4	3	2	1	キャリア教育の視点で高校でのガイダンス授業に積極的に参加し、学校紹介だけでなくとどまらず、職務理解を目的とした体験授業を行っている。 【教職員アンケート 質問41 2.83】

①課題

新型コロナウイルス感染症予防の観点から様々な活動に制限を設ける必要があったが、衛生管理体制を見直し、感染症予防を徹底することで、新型コロナウイルス感染症のみならず様々な感染症の予防につながった。感染症の流行終息後も引き続き感染症予防を徹底し、専門分野である介護職として責任をもって衛生管理が行えるような高い衛生観念を持った人材を育成する必要がある。

②今後の改善方策

定期的な消毒等、現在行っている感染症予防を継続するとともに、感染症予防について正確な知識を身に付けられるよう、様々な場面で指導を行う。

③特記事項

学生への経済的支援は、県・市・連携施設との相互連携により、十分な体制を構築している。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(6) 教育環境

評価項目	適切: 4, ほぼ適切: 3, やや不適切: 2, 不適切: 1				
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	④	3	2	1	施設基準は満たしており、なおかつ教室および共有区域などはスペースを確保している。必要に応じて備品の補充・更新を行っている。 また、施設・設備に関して学生からの要望を聞き取り、可能な限り対応している。 【教職員アンケート 質問42 3.17】 【学生アンケート 質問16 3.44】 平均: 3.31
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	④	3	2	1	新型コロナウイルス感染症予防のため、実習時期の変更、学内実習への切り替え等の対策を講じた。また、学内実習でも十分な教育効果が得られるよう、常に教員間で指導方法の研究を行い、適切な指導方法を模索した。 【教職員アンケート 質問43 3.50】 【学生アンケート 質問17 3.63】 平均: 3.56
・防災に対する体制は整備されているか。	④	3	2	1	防災・地震津波避難訓練は最低年1回は全校で実施している。各設備の防災責任者が定められている。毎年度、防災組織の指示系統が更新されている。 【教職員アンケート 質問44 3.33】 【学生アンケート 質問18 3.59】 平均: 3.46

①課題

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、実習時期の変更、施設実習を急遽学内実習に変更する等の対応が必要だった。社会環境の変化に柔軟に対応し、常に効果的な教育環境を整備できる体制を構築する必要がある。

②今後の改善方策

専門分野が介護福祉科であるため、実習施設における感染症対策は非常に重要な課題である。施設の感染症対策に柔軟に対応し、互いが安心して実習に取り組めるよう、更に実習施設との連携を深める。

③特記事項

新型コロナウイルス感染症予防のため、施設実習を学内実習に切り替える等、柔軟な対応を行っている。学内実習でも十分な教育効果が得られるよう、教員間で緊密な連携を取ることができた。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・学生募集活動は、適正に行われているか。	4	3	②	1	高校新卒者の募集にあたって、入学試験を10月以降に実施しているが、出願については県の専修学校各種学校連合会での取り決めに則っている。今後、より効果的な学生募集活動を展開する必要がある。 【教職員アンケート 質問45 3.17】
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	③	2	1	学生募集活動において、卒業生の就職率、資格試験の合格率、介護実習の成果など、正確に伝えている。 【教職員アンケート 質問46 3.33】
・学納金は妥当なものとなっているか。	④	3	2	1	本校の学納金は、同分野の他の学校の平均的な水準と同等である。 【教職員アンケート 質問47 3.33】 【学生アンケート 質問19 3.50】 平均:3.41

①課題

新型コロナウイルス感染症の影響で介護現場で働くことへの不安から今後専門分野である介護職を希望する者が減少することが危惧される。社会的問題として介護現場において働くことへの不安を払拭するの取り組みが不可欠である。なお、外国人の入国が制限された影響は今後数年に及ぶことが予想される。また、年々高校生数が減少している現状において、社会人に対する募集活動の強化は喫緊の課題である。

②今後の改善方策

市内回覧板、ケーブルテレビ等多様な媒体を活用した広報活動に力を入れる。経済的な不安から入学を断念することのないよう、学費支援制度の周知を行うとともに、介護職は安心して働けるやりがいのある職業だということをアピールすることで、進学に対する不安の払拭を図る。

③特記事項

社会人への学生募集活動において、多様な媒体を用いて積極的な働きかけを行う。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(8) 財務

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	③	2	1	法改正に準じて学科等の教育内容の刷新を行い、入学希望者に学校の魅力を積極的に発信するとともに、経費の見直し・圧縮等で財務基盤の安定化を図っている。 【教職員アンケート 質問48 2.83】
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	③	2	1	予算作成に際して、理事長査定を実施し、適切な予算管理を行い、その内容は妥当なものとなっている。 【教職員アンケート 質問49 2.50】
・財務について会計監査が適性に行われているか。	④	3	2	1	適時、内部監査及び会計監査を実施している。 【教職員アンケート 質問50 3.67】
・財務情報公開の体制整備はできているか。	④	3	2	1	財務情報はホームページ上で公開している。 【教職員アンケート 質問51 3.50】

①課題

経費の圧縮を図ると共に充実した学習環境の維持に努める必要がある。

②今後の改善方策

定期的な経費を見直し、適切な運用を行う。学習環境を維持しながらも可能な範囲での経費圧縮に取り組み、健全な学校運営を目指す。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・法令, 専修学校設置基準等の遵守と適性な運営がなされているか。	4	3	2	1	学校教育法, 養成施設指定規則等の法令に従った適性な運営がなされており, 申請書, 届出書, 学校運営に係る記録等は確実に保管されている。 【教職員アンケート 質問52 3.17】
・個人情報に関し, その保護のための対策がとられているか。	4	3	2	1	学生個人調書等の個人記録は施錠できる保管庫に保管して部外者のアクセスを防止すると共に, 情報の持ち出しを禁じている。全職員を通じて, 個人情報管理意識の向上に努めている。 【教職員アンケート 質問53 3.17】
・自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。	4	3	2	1	学校自己評価委員会の下, 各項目に対して, 自己評価を実施し, 各部局, 学科でそれぞれの問題点は具体的に把握し, 点検と改善を推進している。 【教職員アンケート 質問54 3.33】
・自己評価結果を公開しているか。	4	3	2	1	自己評価結果は学校ホームページ上で公開している。 【教職員アンケート 質問55 3.50】

①課題

学校自己評価における問題点の改善に学校全体で取り組み, 様々な効果が得られている。しかし, その内容の周知は万全に行われているとは言い難い。

②今後の改善方策

学校自己評価を用いた問題解決の効果について, 周知を徹底し, 学校自己評価に向けた取り組み意識の高揚を図る。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	④	3	2	1	学生の地域ボランティア活動や、学校設備の地域自治会への利用、災害予防のための一時避難場所等の提供について周知している。 また、地域の介護事業所職員向けに国家試験対策講座等を実施し、地域の人材育成に貢献している。 【教職員アンケート 質問56 3.33】
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	④	3	2	1	ボランティア募集情報を全学生に周知するとともに、地域ボランティア依頼の受入れ、実施のシステムを構築している。学校を通じたボランティア募集による活動は、必要に応じて教員も引率を行っている。 【教職員アンケート 質問57 3.33】 【学生アンケート 質問20 3.47】 平均:3.4
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか。	④	3	2	1	佐世保高等技術専門校から介護福祉士養成科の委託訓練を受託し、受講者の教育を積極的に実施している。 【教職員アンケート 質問58 3.50】

①課題

新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、ボランティア活動や地域貢献活動にも大きく制限が科されることとなった。今後は感染症対策を十分に講じた上で安全に活動を行える体制の構築が必要となる。

②今後の改善方策

安全に地域貢献活動、ボランティア活動ができるよう、感染症対策をはじめとした活動指針を定め、公衆衛生に十分に配慮して活動を行う。

③特記事項

介護職とボランティア精神は連動していることを意識させる必要がある。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(11) 国際交流

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1					
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか。	4	③	2	1	留学生の受入れをグループ内の受入れ計画に沿って行っている。今後、グループ内の日本語学校に職員を派遣し、学校説明会を実施する等、積極的に留学生募集に取り組む必要がある。 【教職員アンケート 質問59 3.50】	
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	④	4	3	2	1	外国人留学生の受入れに関し、専門の職員を配し、日々の記録を整備し、適切な在籍管理を行っている。また、在留申請等取次者を配し、在留申請支援を積極的かつ適切に行っている。 【教職員アンケート 質問60 3.50】
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。	④	4	3	2	1	留学生担当の職員を配し、日本語の補習授業・生活指導、資格外活動の適正管理を行うとともに、留学生からの相談内容や指導すべき事柄について職員間で共有し、全職員が適切な指導を行える体制を構築し、全校をあげた組織的な取り組みを行っている。 【教職員アンケート 質問61 3.33】
・学習成果が国内外で評価される取組を取っているか。	4	3	2	①	1	国際的な取組は、そこまですべてに達していない。 【教職員アンケート 質問62 2.50】 【学生アンケート 質問21 3.16】 平均 2.83

①課題

留学生の受け入れについて、主体的かつ積極的な取り組みが必要である。また、入学した留学生に対する日本における一般常識の教育が課題である。卒業後の社会生活を円滑に営めるよう、基本的な社会制度、在留申請、社会通念等に関する知識の習得を支援する必要がある。

②今後の改善方策

グループ内の日本語学校と緊密に連携し、早い段階から本校の魅力を発信することで留学生の受け入れを促進する。
入学した留学生に対しては、寮生活の中で日本人の考え方や望ましい生活様式を伝え、母国の文化を尊重しつつも日本で円滑な人間関係を構築できるよう指導する機会を設ける。また、在留関連申請の手順をその都度指導し、卒業後は自身で円滑に手続きを行えるよう必要な知識を伝達する。

③特記事項

留学生在留資格申請、資格外活動の適正な運営管理に努めている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和2年度

令和2年度の総括

(1) 授業内容の質の向上に努める

介護福祉士教員の資質向上、サブテーマとして授業力のスキルアップを目的とした校内研修を予定していたが、コロナ禍の伴い令和2年度は中止した。

ただし、代替授業として、介護教員による校内実習対応の実践研究を実施した。

(2) 介護福祉士国家試験合格率の向上および進路実現100%の達成

学生の潜在能力を「導き出す、引っ張り出す指導」を授業の基本におき、「流した汗は嘘をつかない」をモットーに授業内容の工夫に努めた。

また、介護福祉士の国家試験については、傾向と対策に基づいた補講授業、自己学習時間の工夫などにより、日本の学生全員(100%)、留学生としては本校としては初めて2名(22.2%)が合格した。ただし、留学生の国家試験合格圏到達に向けた指導方法については課題を残す結果となった。

また、進路については担任、学科長による個人面談、就職合同面談会の実施などにより、日本人学生4名全員が吉崎市内の介護施設へ、留学生9名は長崎市、佐世保市、島原市の連携施設への就職が決定した。

(3) 効率的な学生募集に努める

オープンキャンパス、ガイダンスの実施により、高校生4名、委託訓練生1名の計5名の日本人と学園グループ内留学生9名、合計14名の入学者を確保することができた。次年度は、留学生確保は勿論のこと、オープンキャンパスの2回実施、丁寧で具体性のある説明に心掛け、より多くの高校生、社会人の入学に繋げたい。

地区の公民館活動(地区民運動会など)及び他団体との連携による各種のボランティア活動は、コロナ禍のため中止となり断念せざるを得なかったが、本校独自の社会貢献活動(地区の清掃、国家試験対策講座、吉崎警察署員対象の介護教育講座)により地域社会とのつながりを大切にすることに努め、本校の活動を周知することで学生募集に繋げている。

(4) 留学生の安全・安心100%の達成

担任、学科長、留学生担当者を中心に年間15回程面談を実施した。教職員による日常的な声掛け、相談窓口の周知等を通じて留学生の日常生活の悩み、疾病、アルバイトなどの相談について真摯に対応した。自己評価ではあるが、90%は達成できたと判断している。

(5) 凡事徹底に努め、組織として動く

職員間の連絡・相談を密に行い、問題に対して職員全員で対応する環境づくりに努めている。また、各業務従事中に確認すべき項目を明確化した業務マニュアルの作成に着手し、人為的ミスが起こりにくい体制づくりを進めている。

(6) 特記事項(新型コロナウイルス感染症防止対策)

新型コロナウイルス感染症の感染防止策として、以下の活動を行った。

- ① 基本の徹底(手洗い、手指消毒、マスク着用(二重マスク)、黙食等)
- ② 消毒の徹底(始業前・昼・放課後、教職員・学生による消毒作業)
- ③ 寮における消毒の徹底(土・日・休日の寮生による消毒作業)
- ④ 学校だよりをもとに担任・学科長・校長による指導
- ⑤ コロナウイルス感染症対応マニュアルの作成

1. 学校の教育目標 令和2年度

- 1 ビジョン
地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になる
- 2 ビジョンの実現に向けたテーマ
地域社会から必要とされる組織であり続ける
地域社会から必要とされる人材を提供する
- 3 学校経営スローガン 「傍らに人あり」の精神を大切にする介護人材の育成
- 4 重点教育目標
 - (1) 教員の研鑽に基づいた授業内容の充実に努める
 - (2) 介護福祉士国家試験合格率及び進路実現100%の達成、留学生についても合格を目標に指導する
 - (3) 効果的な学生募集に努める。
 - (4) 留学生の安全安心を100%担保できるよう努める
 - (5) 凡事徹底に努め、組織として動く
- 5 具体的な対策
 - (1) 教員間の授業参観及び実習施設との連携強化
 - (2) ・効果的な模擬試験，補講の実施及び自己学習時間の確保
・担任・学科長による進路の具現化に向けた個別面談の実施
・就職合同面談会の実施
 - (3) ガイダンス，オープンキャンパスなど広報内容の充実
 - (4) 留学生担当者，担任による面談の実施
 - (5) 職員の報告，連絡，相談体制の推進

2. 令和2年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 教員の研鑽に基づいた授業内容の充実に努める
先輩教員に学ぶことを基本に、年2回の「授業研究」の実施等を通じて自己研鑽に努め、介護福祉士国家試験合格に繋げる。
- (2) 介護福祉士国家試験合格率及び進路実現100%の達成
 - ①入学時オリエンテーションにおいて国家試験の位置づけ等、2年後の国家試験合格に向けた明確な意識付けを行う。
 - ②模擬試験18回、補講および放課後の自己学習30回の実施。
 - ③介護施設との連携のもと、就職合同面談会を実施する
 - ④担任、学科長との進路に関する面談を5回実施する。
- (3) 効果的な学生募集に努める。
 - ①各高等学校の進学ガイダンスに積極的に参加し、分かりやすい広報に努める。
 - ②具体的、実践的な内容に重点をおいたオープンキャンパスを実施する。
 - ③グループ内日本語学校と緊密に連携し、情報発信を行う。
- (4) 留学生の安全安心を100%担保できるよう努める
担任、留学生担当者による面談を実施し、日常生活、悩み、体調不良等への適切な対応を行う。
- (5) 報告、連絡、相談体制の推進
 - ①職員間の情報共有を徹底し、まず報告することの重要性を意識づける。
 - ②問題をひとりで抱え込まない意識付けを行う。
 - ③日々の業務に関しての凡事徹底の意識付けを行う。